|  |  |
| --- | --- |
| 所属プロジェクト | ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウエアから開発する - |
| 担当教員名 | 三上貞芳，高橋信行，鈴木昭二 |
| 氏名 | 田澤卓也 |
| 学籍番号 | 1018225 |
| クラス | H |
| 配属時における学習目標は何でしたか．(複数回答可) | プロジェクトの進め方, 複数のメンバーで行う共同作業, 発表（含むポスターの作成）方法, 学生同士でのコミュニケーション, 技術・知識の習得方法, 技術・知識の応用方法, 作業を効率よく行う方法, 課題の設定方法, 課題の解決方法 |
| 上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください． |  |
| 上記の目標達成のために，どのようなことを行いましたか．（自由記述200文字以上） | ロボットをゼロから作るうえで必要な知識、どのような工程で何から取り組めばいいのかメンバーの間で考えを共有して、先生にアドバイスをもらいながら、積極的に学習に努めた。ロボットに実装したい機能のアイデア出しを行い、スケッチを行った。プロジェクト全体の目的・目標を意識しながら、グループにおける作業の計画を立てた。発表から改めて、進捗を確認しながら互いを評価し合って効率よく学習・作業を進めることが必要であることを振り返り、確認をした。さらに今後プロジェクトの目的・課題をしっかりと意識して、ロボットをつくるにはなにをしたらよいのか考え、メンバーの間で知識・考えを共有しながら進めることを確認した。 |
| 前期の活動を終えて，学習目標は変化しましたか？ 現時点（７月末）における学習目標を選択してください．(複数回答可) |  |
| 上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください． |  |
| （9の質問で学習目標が変化した学生） 学習目標が変わった理由は何ですか？（200文字以上） |  |
| 後期，学習目標の達成のために，どのようなことを行う必要があると考えますか．(200文字以上) | これまでの活動で得たロボットの開発工程への進捗を把握し、今後の目標とスケジュールを改めて決めること。プロジェクト全体として作るロボットはどんなコンセプトと機能を持ったものが良いのか考えながら、残りの時間でグループのロボット制作に必要な知識のインプットに取り組むこと。スケジュールに合わせてメンバーの間で役割分担を考えて効率よくロボット開発に取り組むことをミーティングで考えを共有しながら確認すること。 |
| 前期の活動を振り返って，活動全体の印象や感想を書いてください．（自由記述200文字以上 | ｃ |